

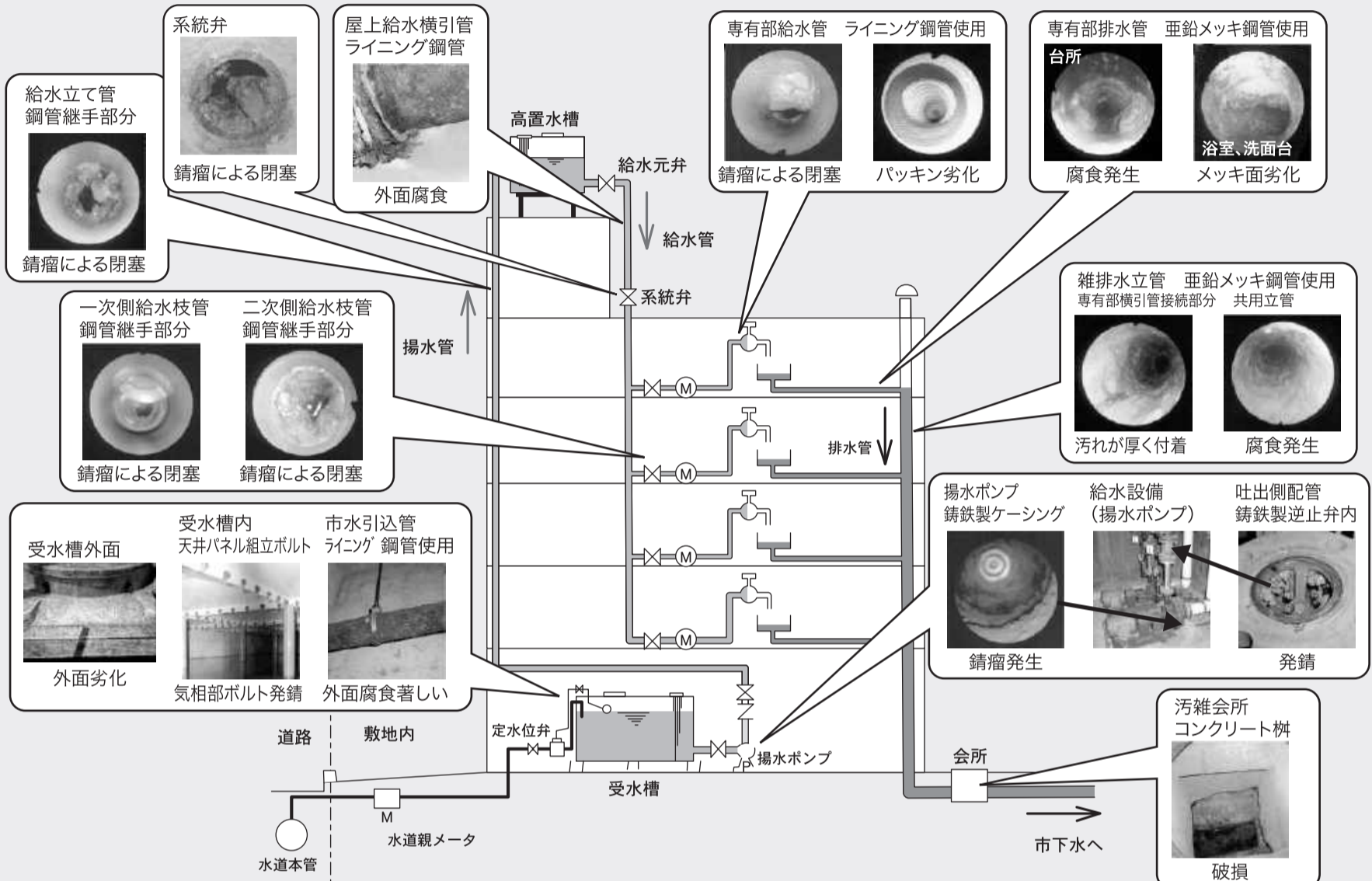
最善・最適の
改修計画を
立案するためには!?



給排水設備の劣化状況を 正確に把握することが 重要です!



給排水設備劣化事例 ※当社調査物件(高置水槽式マンション) 築20年



給水管

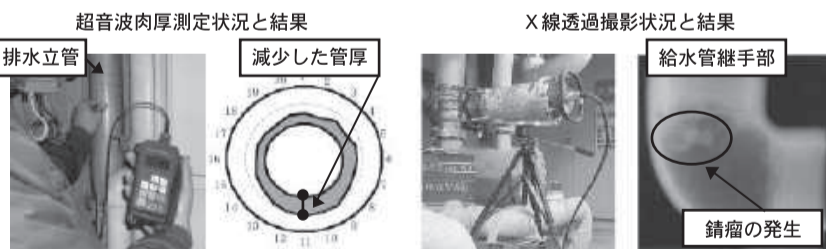
立管、枝管の継手接続部分に錆瘤が大きく成長し、管径を狭めています。給水量がかなり低下していると考えられ、複数箇所同時に水を使用した場合に、給水量低下や水圧の変動を引き起こす可能性があります。

排水管

雑排水共用管の専有部横引管の一部及び共用部に使用されている亜鉛メッキ鋼管内面のメッキ劣化により鉄地肌が露出し腐食が発生しています。腐食による表面の荒れは、台所排水の有機物、脂肪分等汚れの付着堆積を助長し、排水の流下に支障をきたし、排水の逆流や異常音など、種々のトラブル発生の原因になります。

内視調査以外の方法は?

劣化診断調査にはファイバースコープを使用して配管内部を内視調査する方法以外に、超音波による配管残存肉厚測定や、X線による管内の錆瘤の発生状況を把握するX線透過(レントゲン撮影)調査もごさいます。



現状把握から最善の改修へ

給排水設備は快適なマンションライフをおくるために非常に重要な役割を担っています。近年、竣工時から約15~20年以上が経過するマンションの配管設備においては、内部の腐食による劣化が相当進行しているケースが数多く見受けられ、漏水・給水不良等のトラブルが発生しています。また、そのことでマンションの資産価値を下げる結果を招いています。そこでトラブルを未然に防止する為にも、ファイバースコープ等の機器を用い、配管内の劣化の程度や損耗度を調査し、劣化状況を正確に把握することが必要となります。今までに弊社が実施した給排水劣化診断調査で得られた精密なデータは、最善かつ経済的な改修工事の計画立案と実施に貢献してまいりました。永く快適で安心なマンションライフ実現の為に、給排水設備劣化診断調査を実施の上、最善・最適の改修工事の実施をお勧めします。 ※調査実績棟数150棟

その他、法定の建築設備定期検査・特殊建築物定期調査も弊社にお任せください!

山本環境整備株式会社

一級建築士事務所 兵庫県知事登録(阪1)第1537号

〒663-8142 西宮市鳴尾浜1丁目6番
TEL. 0798-44-5500(代) FAX. 0798-45-5118

ホームページ <http://www.yksg.co.jp>

■営業所:大阪・西神戸
■サービスセンター:千里・都島・奈良・北大阪



おかげさまで
30周年

確かな技術のヤマカンにご相談を!

- ◎給水直結直圧化及び増圧化工事
- ◎給排水管更新工事
- ◎受・高架水槽更新工事
- ◎給排水ポンプ及び操作盤取替工事
- ◎受・高架水槽内外ライニング工事
- ◎給水・給湯管オゾン洗浄工事
- ◎消防設備改修工事
- ◎電気・空調設備新設・改修工事
- ◎給排水設備劣化診断調査
- ◎内装工事・各種塗装工事
- ◎集中機械監視業務(24時間365日)
- ◎給・排水設備点検
- ◎消防設備点検
- ◎貯水槽清掃
- ◎排水管清掃
- ◎清掃業務(日常・定期・特別清掃)
- ◎建築設備定期調査
- ◎特殊建築物定期調査
- ◎長期修繕計画立案・作成
- その他、お気軽にご相談を!!